外来診療のご案内

（2024年５月1日現在）

	診療科	月	火	水	木	金
午前	消化器内科		三原　通晴	三原　通晴		三原　通晴
	循環器内科	廣田　晋一	廣田　晋一	福田　仁也	廣田　晋一	※小國　哲也
		福田　仁也	三角　郁夫	三角　郁夫	宮本　信三	三角　郁夫
	代謝内科・糖尿病		※有馬　由佳	※大津　可絵	※櫻田　　郁	
	呼吸器内科	鈴村　智子	鈴村　智子	※福嶋　一晃	鈴村　智子	※岡本　真一郎
	腎臓内科			※岡村　景子		
	外科				※熊大消化器外科	
	整形外科	※久重　雅由		※末吉　貴直		
	脳神経外科	吉里　公夫	吉里　公夫	吉里　公夫	吉里　公夫	吉里　公夫
	健診科	三角　郁夫	※西村　由佳	※西村　由佳	※小阪　雅代	廣田　晋一
午後	消化器内科	※平島　美幸				
	代謝内科・糖尿病				※櫻田　　郁	
	整形外科	※森　修		※末吉　貴直		※高橋　慶亮

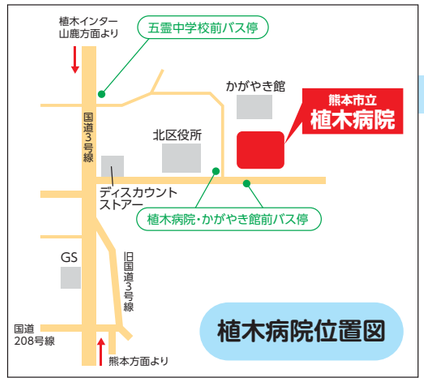
○当院では、再診予約制を行っております。診察時に次回予約をお取りください。
予約変更等の問い合せにつきましては、平日の午後（13：00～16：30）にお願いします。
○予約外の再来患者様へ
　医師の学会等で休診がございます。前日確認の上、来院をお願いします。
※は、熊本大学病院等からの非常勤医師です。

診察受付時間：平日／午前　8：15～11：30
平日／午後　代謝内科・糖尿病（木曜日）　：13：30～15：00
消化器内科（月曜日）　：13：00～15：00
整形外科（月曜日・水曜日・金曜日）：13：00～16：00

休　診　日：土曜日・日曜日及び祝祭日
年末年始（12月29日から翌年1月3日）
※急患の方は、救急担当医が24時間対応致します。

当院では、各医療機関との連携を推進しております。その窓口として「地域医療連携室」がございますので、ご活用くださいますようお願い申し上げます。

■地域医療連携室
電話：TEL096-273-2111（代表）
FAX096-272-2117（代表）



交通アクセス

路線バス　九州産交バス「A4-1」「A4-2」「U2-1」：北区役所・小野泉水 行
熊本電鉄バス「C4-4」「C4-5」：北区役所 行
いずれも「植木病院・かがやき館前」バス停で下車

循環バス　ゆうゆうバス植木循環ルート
「植木病院・かがやき館前」バス停で下車
※ゆうゆうバス植木循環ルートの運行6/28まで

乗 用 車
・熊本市中心部より30分
・山鹿市中心部より30分
・九州自動車道　北熊本スマートインターから5分
植木インターから10分

編集後記

今年は桜の満開になる前後は天気に恵まれ、植木病院前の桜も大変綺麗に咲いていました。患者さまだけではなく、職員の心もどこか穏やかにさせられました。今からは行く春を惜しみつつ、新緑に目をうばわれる時期になります。　新年度になり、植木病院の体制は一新しました。外来の診療体制の変更もあり、患者様には大変ご不便をお掛けしておりますが、ご理解のほどよろしくお願いします。今後とも患者さまやその家族にご満足いただける医療の提供を目指していきたいと思います。

植木病院だより

Vol.40
令和6年 春

発行所　〒861-0136 熊本県熊本市北区植木町岩野285-29
TEL096-273-2111 FAX096-272-2117
熊本市立　植木病院
公式ホームページ
発行人　三角郁夫



基本理念
信頼と満足の得られる全人的医療の提供

基本方針
患者さん中心の医療
安全医療の推進
地域に密着した連携医療
たゆまざる質向上と自己研鑽
健全経営の確保

日本医療機能評価機構

謹啓　春爛漫の季節を迎え、皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素は当院に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。この度、掃本誠治先生の後任として本年4月1日より院長職を拝命しました三角郁夫と申します。新米院長でございますが、よろしくお願い致します。当院の基本理念である、”信頼と満足の得られる全人的医療の提供”の実現に向けて、チームワークを充実させて参ります。

そのために、①医療者側が患者さんに十分な説明・教育を行い、患者さんの人間性を尊重して医療を行う患者さん中心の医療。②人は誰でも間違えるという前提に立ち医療者間でのコミュニケーションを大切にする安全医療の推進。③鹿本医師会の先生方との親密な関係を築き隙間のない医療連携を行う。④研修会や学会に積極的に参加し、医療の質向上と自己研鑽に勤める。⑤職員全員が病院の健全な運営を目指す。といった基本方針に沿った医療を行います。



現在、植木病院は常勤医師の数が減少していますが、多くの科の先生方の外来診療援助を受けています(整形外科、外科、代謝内科、呼吸器内科、腎臓内科、循環器内科、健診科、消化器内科)。また消化器内科特任部長三原通晴先生にも引き続き診療していただいています。脳神経外科吉里公夫先生には診療部長として病院の運営を支えていただいています。循環器内科では新たに宮本信三先生が部長として赴任され、心臓カテーテル検査やPCIを充実させていく所存です。

職員一同、協力して患者さん中心の医療を行ってまいります。皆様のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

病院長　三角　郁夫

新任医師・メディカルスタッフ紹介



循環器内科　宮本　信三

令和6年4月から植木病院で勤務させていただいております循環器内科の宮本信三です。

熊本市出身で、1993年に大学卒業後、熊本大学循環器内科に入局いたしました。医局人事で、これまでに熊本大学病院をはじめ、静岡市立静岡病院、国立循環器病センター、熊本地域医療センター、八代総合病院、済生会熊本病院、阿蘇医療センター、熊本中央病院等の県内外の病院で勤務して参りました。多岐にわたる病院での勤務を通して、多くの先輩方に師事し、同僚と切磋琢磨をしながら、私自身の専門性を高める多くの機会に恵まれました。これまで培った知識と経験を生かし、当院でも狭心症や急性心筋梗塞に対するカテーテル治療や徐脈性不整脈に対するペースメーカー植え込み術を行っていきたいと思います。

近年、高齢化社会を背景に心不全が増加しています。『心不全は、心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気』で、再入院率が高く、死亡率が高い特徴があります。そのため再入院や心不全死を減らすために、心不全教育ツールのハートノートを用いて、患者さん自身によるセルフケア・セルフマネージメントの重要性について指導を行っております。これからも近隣の医療機関と密着に連携を図りながら、患者さんに寄り添ったより良い医療の提供に努め、地域医療に貢献していきたいと思います。



理学療法士　蔵座

熊本市民病院より異動して参りました、リハビリテーション室　理学療法士の蔵座と申します。

救急医療や連携医療など地域に密着した植木病院で患者さんへのリハビリテーションを提供し、貢献できるように頑張りたいと思っております。子どもの成長と帰ってからのビールが最近のブームです。よろしくお願いいたします。

●地域医療構想に基づく当院の方針について●

【令和７年４月より、地域医療構想に基づく病床再編による見直しを予定しています】

病床機能	現　　在	令和7年４月以降
急性期	８８床	６５床
回復期	１４床（地域包括ケア）	２０床（地域包括ケア）
慢性期	３９床（医療療養）	２５床（医療療養）
合　計	１４１床	１１０床

○病床の見直しについては、現在の141床から令和7年度には110床となります。
○急性期一般病床、療養病床は減少しますが、地域の医療需要を見込んで地域包括ケア病床は20床へと増床します。
○救急医療を堅持し、急性期一般病床、地域包括ケア病床、療養病床混合の急性期から慢性期までのケアミックス型病院として切れ目のない医療を提供します。
○循環器分野への取組を強化、専門性を発揮し、急性心筋梗塞の急性期から心不全末期まで取り組むほか、心・脳血管等のリハビリテーションの充実、特定保健指導等の健診部門の拡充、地域包括ケア病床・訪問看護ステーションの活用や地域の医療機関との連携を密にすることで、将来にわたり地域医療に貢献していきます。

●外来からのご案内●



健康診断

①企業健診（企業で行う定期健診）
②生活習慣病予防健診
③人間ドック（通院２日コース　日帰りコース）
④特定健診（対象年齢40～74才）
⑤一般健診
⑥熊本市からの委託分の検診（胃がん（胃内視鏡）検診、大腸がん検診、肝炎ウィルス検査）
を行っています。

特定保健指導

40～74歳を対象に、運動不足・かたよった食事・喫煙などの生活習慣が引き金となる生活習慣病の発症・重症化の予防を目的に、内臓脂肪に着目した保健指導です。

内臓脂肪には糖尿病や高血圧、脂質代謝異常症につながる危険因子がつまっており、内臓脂肪が蓄積するとウエスト周りが大きくなります。内臓脂肪の蓄積に血圧上昇や血糖高値、脂質の異常値が見られる状態をメタボリックシンドロームといい、放置しておくと脳梗塞や心筋梗塞などの原因となる動脈硬化のリスクを高めたり、生活習慣病を引き起こします。

各種健診で腹囲/体重測定や血圧測定、血液検査を行った結果、内臓脂肪の蓄積が疑われ（腹囲が大きい、もしくは体重過多）、メタボリックシンドロームに該当する、もしくは予備軍であると判断された方に対し、専門スタッフ（保健師、管理栄養士、医師など）が、以下のようなサポートを行います。

・健診結果をもとに、ご自身の健康状態を正確に理解する
・現在の生活習慣を確認し、改善が必要な生活習慣を自覚する
・生活習慣の改善方法を考え、目標を立てる。継続的に取り組める方法を考える

サポートには「動機づけ支援」と「積極的支援」があり、いずれの支援になるかは、健診の結果で判断します。

皆さん一人一人の生活環境は異なり、生活環境によって生活習慣も異なります。生活環境を踏まえながら、健康状態の改善につながる生活習慣を考えたいと思います。そして継続的な取り組みになるよう、目標が達成できるようサポートします。



予防接種

一般の方の肺炎球菌ワクチン、インフルエンザの予防接種を行っています（原則、予約制となります）。

●当院では一部エリアを除き、無線 LAN(Wi-Fi) を利用できます●



当院では、院内で快適に過ごしていただけますよう、無料の無線LAN（Wi-Fi設備）を設置しております。

ご利用は無料ですので、ご自由にご活用ください。

●X線透視装置を更新しました●



令和5年12月よりX線透視装置が新しくなりました。主に、消化器系の造影検査や処置・治療などで使用するもので、以前の装置に比べ、機能性や画質が向上しております。新しい機能も搭載され、被ばくの低減など期待されます。